

2025年2月7日(金)9時から CRT スタジオで収録

試験（入学試験・学年末試験・単元テスト・まとめテスト・実力試験・模擬試験など）の
価値・大切さを考える

開倫塾

塾長 林 明夫

Q1：入学試験、学年末試験、単元テスト、まとめテスト、実力テスト、模擬試験、検定試験など、「試験」は何のために行うのですか。「試験」の意味は何ですか。

A：＜先生にとっての試験の意味とは＞

(1) 先生方が、自分の教えた内容がどのくらい理解できたか、身に着いたかを調べ、実態を調べ、これから教える内容や教え方を考えるのに参考にするために、「試験」を行うという考えもあります。

＜入学試験・採用試験・国家試験など資格試験の意味とは＞

(2) 誰をこの学校に入学させるか、誰をこの会社や役所に就職させるか、誰にこの資格を与えるか、などを決定するのに、参考にするために行うのが、「入学試験」「採用試験」「資格試験」です。

＜定期試験・単元テスト・まとめテスト・実力テスト・模擬試験などの意味とは＞

(3) 「試験」が出題される教科や、試験の範囲が示されている場合には、試験の日までに、その内容をしっかり勉強してもらいたいために行うという考えもあります。

Q2：入学試験、検定試験、国家試験の勉強は、入試合格、資格を取るに役に立つのはわかりませんが、それ以外に何か役に立つのですか。「テストに合格するだけの勉強」のような気がして、虚しくなることがあるのですが。

A：とてもよい質問、大切な質問です。Good Question!です。

(1) 「試験に出題されるすべての教科の内容」は、すべて大切なものばかりです。役に立たないものは、何一つありません。

(2) ①次の学年で役に立ちます。

②これから進学する学校ですべて役に立ちます。

③社会に出て、仕事をしたり、社会的な活動をしたり、日常生活をするのにも役立ちます。

○よい人生を送る、よく生きるのにも、全部役立ちます。一生役に立ちます。

(3) ①すべて役に立つ大事なものですから、「学校の教科書」「開倫塾のテキスト」「授業ノート」「まとめノート」「意味調べノート」「辞書」「地図帳」「歴史年表」など、「試験で用いた教材」は、試験が終了しても、捨てないこと、処分しないことが大切です。

②すぐ取り出せる場所に保管し、折に触れて学び直すこと、一生かけて学び直すことを、

おすすめします。

③これからの時代は「知識基盤社会」「知識が基盤になった社会」です。

○その「知識」の中心になるのが、小学校、中学校、高校、大学、専門学校、大学院などで学び、試験勉強して、しっかり理解し、身に着けた、定着させた、「学校の教科書内容」です。

Q 3 : それではお聞きします。これから行われる「学年末試験」や「1年間のまとめテスト」の勉強は役に立つのですか。

A : (1) 「学年末試験」や「1年間のまとめテスト」の「試験範囲」は、「今の学年や、今の学期に学んだ内容」です。

(2) ①「学年末試験」では、是非「100点満点」を目指してください。

②「学校の教科書をていねいに、一語一語理解」し、理解したら、その後、「音読練習をし、暗唱」「書き取り練習をし、暗記」「計算問題練習」。

③さらに、過去に出題された問題（過去問）で応用力を身に着ける。

④そして、「学校の教科書をスミからスミまで覚える」。

⑤最終目標は、「深い理解」「学んだことを、自分のことばでいえる（表現・説明できる）こと」です。

(3) ①この学年で学んだことを、「学年末試験」でしっかり身に着け、「自分のことばでいえる（表現・説明できる）」までにして、「学年末試験では、全教科 100 点満点を取る」。

②この学年で学んだことを、「完全に習得（身に着ける）」。そして、次の学年に進級する。そうすれば、次の学年で学ぶ内容を「100 %理解」できるようになります。

③「新しい内容を 100 %理解し習得するには、それまでに学んだ内容を 100 %完全に学び習得することがとても役に立つ」と考えます。

○この考えを「完全習得学習理論」といいます。

Q 4 : 「入学試験」の「受験勉強」はどうですか。「合格」し、「志望校に入学する」だけのために、夜、眠る時間以外勉強するのは、ちょっとと思えてなりません。

A : (1) 大学入試の試験範囲は、試験教科について「高校で学ぶすべて」です。また、高校入試の試験範囲は、試験教科の「中学校で学ぶすべて」です。

(2) ①よく考えれば、入学試験の勉強を行うということは、今の学校で 1 年から 3 年までに学んだすべての内容を、しっかり「復習」し、「定着（身に着け）」「過去問を活用し、応用力を身に着ける」。

②そして、さらには、「学校教科書」や「開倫塾テキスト」「自分で決めた参考書」等を、何回も、何回も、学び直し、3 年分、「スミからスミまで覚える」。

③そして、「深い理解」「学んだことを、自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ことを意味します。

(3) ①入学試験の勉強を通して、3 年間学んだことをしっかり身に着けると、進学する新しい中学校、高校、大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院で素晴らしいス

ターゲットを切ることができます。素晴らしい成績を取ることができます。

②開倫塾の「学習の3段階理論」は、進学する中学校、高校、大学、専門学校、大学院でそのまま役に立ちます。

③開倫塾で、中学時代に身に着けた「効果の上がる学習方法」を参考に高校で学び続ければ、どのような高校でもトップクラスの成績を取っています。医学部医学科や東京大学、東京科学大学、慶応義塾大学、早稲田大学など、トップ校・難関校に合格しています。

Q5：最後に一言どうぞ。

(1) 定期試験や単元テスト、まとめテストや実力試験、検定試験や国家試験、入学試験や模擬試験など、できるだけ早め早めに、きちんきちんと、コツコツ、準備し試験に臨めば、かなりの学力が身に着きます。

(2) 各試験で用いた「学校教科書」や「開倫塾テキスト」「辞書」「地図帳」「歴史年表」を、試験後もしっかり保存し、折に触れ学び直せば、仕事、社会的活動、日常生活、よく生きるために役立ちます。一生役立ちます。

(3) 「自分の未来は自分で切り開く」のに最も役立つのは、「深い理解」「学んだことを、自分のことばでいえる（表現・説明できる）こと」と確信します。

○受験勉強で「ハードな自己学習能力」「学習習慣」「やればできるという自信」「克己心」「自律的に活動する能力」「積小為大の考え」等も、少しずつ身に着けることができます。

<以上、ご参考まで>

○皆様は、試験は何のために行うのだとお考えですか。試験によって得られるものは何だとお考えですか。是非、自分自身の問題として、お考えください。